

HLINE

今年で創立以来三十七年という長い時日を持つにいたりました。熊本県民の皆様があなたにたいし声援の賜物と会員一同感謝しています。

最近の我々の活動として、年度はじめの総会、宴会(カラオケ・福引その他)、春秋の老若男女の楽しみの野遊会といった所です。

春の野遊会(四月一日)でとりまして写真をお送りいたします。

熊本の皆様お元気でお過ごし下さい。

(メキシコ在住 甲斐禮次郎)



メキシコ県人会の野遊会

雑誌「KAZE」楽しく拝見いたしております。

メキシコにおける熊本県人会の事について述べさせていただきます。

創立は古く熊本市大水害の時、「故郷熊本を救おう」ということで「相互扶助」を創立の精神とし創立されました。



姜信子さん
フリーライター。ノンフィクション「ごく普通の在日韓国人」で朝日ジャーナル賞受賞。
熊本と韓国の交流推進のため、韓国・忠清南道庁に県職員として初めて派遣された夫とともに昨年5月下旬に渡韓。

韓国の田舎は日本の田舎と同じ匂いがする。

大田市内からバスに乗って四十分、バスターミナルからさらにタクシーで十五分ほど行くと、いきのいい緑が一面に広がる水田と黒い日よけで覆われている広大な畑とが目の前に現れ出る。黒いほうは高麗人参畑だ。私達一家は、夏の日を過ごすために、忠清南道の南限であり韓国一の高麗人参の産地である錦山(クムサン)を訪れた。ここは豊臣秀吉の朝鮮侵略の時の激戦地の一つだった。日本軍を撃退しつつも全滅した義兵七百名を埋葬し祀った塚「七百義塚」があることでも有名な地である。

私達はこの村を流れる川の岸に運動会のような天幕を張って(正確には、朴氏のお父上が張ってくれた)、子供たちを川に放し飼いにし、大人たちは魚を捕まえて料理をして、一日を川っぺりで過ごした。

「ここには70年代まで電気が通ってなくて、石油ランプを使っていたんですよ」「テレビもなく、ラジオもダイヤルを合わせるのではなく、ただスピーカーから音が出てくるものでした」「こんな川遊びも最近するようになったんですよ。都会から子供たちが帰ってくると、こうやってテントをはって一日遊んで、やってみたら意外と面白いんで、村にいる人達まで夏にはこうやって遊ぶようになりました。こんな遊びをしようという気にもなりませんね」

朴氏の奥さんからこんな話を聞きながら、ふと向こう岸を見やると、赤牛が二頭ひょっこり現れて岸で草をはみ始めた。熊本にいるのとおなじやつだ。

高麗人参は日光を嫌う。普通は四年で収穫する。人の手で一つ一つ根を掘り出す。

球磨川沿岸の県道29号線から大平発電所に向かう途中に、坂本村結集というところがあります。先頃開通した高速道路からはなかなか気付く人もないかもしれません。

収穫作業をしている人の多くは年配の人々だ。若者はほとんど村に残っていない。私達をこの村に連れてきた朴氏のよ

いつも「KAZE」楽しみに読ませていただいております。

私にとって熊本は、Sと山の思い出がいっぱい残っております。

Sといえは、八代からの肥薩線の大畑ループや高森線(今の南阿蘇鉄道)そして、阿蘇・久住の山など、何度も訪ねました。今は、「KAZE」を読んで熊本の旅を楽しんでいます。そのうち、久しぶりで熊本へ旅してみたいと思っています。熊本は、自然と人味があり、とてもよいところですね。

(茨城県久慈郡 宮田 国敬)

大型荷物は耕耘機にのせ、私達は牛の糞の落ちていた舗装道路を歩いて朴氏の実家に戻った。途中、トラジ(ききょう)畑に紫と白の花が咲き乱れていた。

実を言うと、私は生まれて初めて、ここ錦山で天の川を見た。韓国語で天の川を「銀河水(ウナス)」という。



錦山の農村・高麗人参畑

은하수의 마을

ウナス ウイ マウル

銀河水の村



忠清南道公州郡麻谷寺での川遊び



錦山の農村・伝統的農家の土塀



唐辛子の乾燥

さわやかぜ

編集後記

今年度連載の「熊本六街道」、3回目の今回は豊後街道をたどって阿蘇へ行きました。取材の日が快晴だっただけに「7・2水害」が信じられず・・・しかし晴天の下、取り壊された建物の跡が逆になぞにそのすさまじさを語っていたように思えました。そんな中に、数多く残っていた街道の跡、改めて阿蘇の歴史の重さを感じさせられたものです。災害にあわれたみなさん、がんばってください。

- 表紙イラスト 阿津坂雅弘
表紙のことは 熊本の美しさは、その自然や歴史に深く係わりをもつものが特に多いようです。中でも秋の高い空と秋風に舞う雲、夕陽、そしてシルエットで浮かび上がる杜の都の木立と熊本城は秋に誰もが見る日常の美の中での代表的なひとつといえるのではないのでしょうか。
- シーン'90 撮影のことは 長野良市
暗闇の中に放たれる白い水の帯のコントラスト、ライトアップされて再認識させられた石垣の一つ一つの精巧な組み合わせ、そして、水面に浮かびあがったシンメトリカルな宇宙。夜の通潤橋の新しい発見でした。

お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を200~400字程度にまとめてお送りください。(採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)



●あて先
〒862 熊本水前寺6丁目18-1
熊本県広報課「くまもとの風」係
☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

愛読者募集

県では、県政広報紙KAZE(くまもとの風)の愛読者を募集しています。「くまもとの風」は、くまもとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜてお届けする広報誌です。あなたも、この機会に「くまもとの風」で素敵な出会いを体験してみませんか。

■発行/偶数月発行 年6回 ■郵送料として/1,500円(郵便切手でお願います。)

■お申し込みは/〒862 熊本水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「くまもとの風」係

CONTENTS

1-2	風のコンパス
3-8	特集 農業
9-10	風を探して ~ママさん探訪記~
11-12	熊本人物水路 ~熊本バンドの人々~
13-14	シーン'90
15-16	トーク&トーク ~ユウティ・メグロウ さん~
17-18	熊本六街道 ~豊後街道~
19-20	くまもと北から南から ~天水町・八代市~
21-22	くまもと情報BOX ~観光・インフラ刷新・文化施設ネットワーク事業~
23-24	風の告知板
25	姜信子の韓国通信
26	HOT LINE・さわやかぜ